

第37回

総会・懇親会報告

＜開催日時＞ 令和6年11月17日(土) 午後1時～3時30分

＜会場＞ 韻松亭(上野公園内)



《会長挨拶》

東京支部会長 松本 洋幸

皆さんこんにちは。

第37回栗高同窓会東京支部の総会・懇親会に30名からの大勢の方のご出席を頂き、幹事の皆様方のお力添えもありここ上野・韻松亭(いんしょうてい)にて開催できることに感謝いたします。2年に1度、同窓生が集い、懐かしい顔をご拝顔しながら親睦と交流を深めることに意義深いものを感じます。当支部の登録メンバーは年々減少傾向にありますが現在500名弱であります。今回約130名の方から出欠の確認を頂き、かつ本日31名の方にご出席を頂いています。

開催案内に際し、当支部の財政困窮をご報告しご協力をお願いしましたところ、多くの方から会費はもちろん特別賛助金を頂きました。重ねて御礼申し上げます。これで第37号「支部だより」発行と次回総会のめどが立ち安堵しています。とは言え、依

然厳しい財政状況が見込まれ、今後の運営の在り方について費用削減を念頭に検討しなければならない状況にございます。今後ともご理解・ご協力をお願いする次第です。

母校の現状ですが、定員割れ対策が喫緊の課題として心配されていますが、坂上校長先生からのお便りによりますと、道内外から広く入学者を募る諸対策で問題解決を図るとしています。その成果も徐々に表れ在校生の増加に結びついているとの事です。

本日は、会務の報告、収支決算、次年度の役員選出等についてお諮りいたしますので、忌憚のないご意見・ご提案を賜り、提案している議案について瑕疵が無ければ説明の後一括でご承認いただければと考えます。総会の後は懇親会ですが、老舗のお食事を楽しみながら時間の許す限りご懇談を頂けたら幸いです。

議題1 令和4～5年度「会務報告」等

1. 主な会務報告

- 4年 7/23 4年度第1回役員会 出席者4名（会場：SYD会議室）
 11/ 5 4年度第2回役員会 出席者7名（会場：SYD会議室）
 11/19 36回総会・懇親会（松尾ジンギスカン赤坂店）
 出席者25名（詳細はすでに送付済みの「支部だより第36号」参照）
 5年 1/25 さっぽろ会会報（第24号）に松本会長と久世事務局長が寄稿
 2/ 4 4年度第3回役員会 出席者6名（会場：SYD会議室）
 2/27 「支部だより」第36号の発行（580部）
 3/ 1 栗高同窓会「栗窓」（第43号）に久世事務局長が寄稿
 6年 2/18 5年度第1回役員会 出席者7名（会場：SYD会議室）
 3/ 1 栗高同窓会「栗窓」（第44号）に谷内幹事が寄稿

◎栗山高校女子野球部の応援（全国高等学校女子硬式野球選抜大会）

※手づくりの応援幕「燃えろ！栗山－栗高同窓会東京支部」や「栗高ガンバレ」の紙を掲げて応援した。

- 6年 3/21 初戦・対啓明学館（愛知県）－行田市総合公園野球場 同窓会応援者11名
 15対6でコールド勝ち
 3/23 2回戦・対神村学園（鹿児島県）－加須きずなスタジアム 同窓会応援者9名
 4対12でコールド負け

2. 会員状況

会員数498名（6年7月12日現在）

3. 母校の近況

- 5年 3/31 卒業生47名（男26名、女21名）－進学30名、就職17名
 6年 3/31 卒業生39名（男16名、女23名）－進学25名、就職14名→道外へ2名
 ※生徒数（6年4月5日現在）

1学年	49名（男16名、女33名）
2学年	49名（男13名、女36名）
3学年	22名（男12名、女10名）
合 計	120名（男41名、女79名）

訃 報 謹んでご冥福をお祈り申し上げます《敬称略》

恩 師 田 中 優 先生 令和5年3月15日ご逝去

＜ご芳名＞	＜卒業年＞	＜ご逝去日＞	＜ご芳名＞	＜卒業年＞	＜ご逝去日＞
丸 岡 利 市	S29	令和6年6月5日	亀 淵 敕 又	S30	令和5年
斉 藤 俊 六	S35		山 代 秋 夫	S35	令和6年4月
金 野 義 勝	S36	令和4年2月18日	鈴 木 美智子	S37	令和5年7月
斎 藤 八 郎	S39		塩 田 博	S40	令和5年8月22日
伊 藤 隆 夫	S41	令和5年11月	高 田 徹 夫	S41	令和5年12月21日
太 田 敏 朗	S43	令和5年3月	田 中 時 夫	S43	令和6年7月9日
小 畑 謙 二	S44				

議題2 令和4～5年度「収支決算報告」

<収入の部>

※単位：円

前年度繰越金	240,222
栗高同窓会本部助成金（3・4年度分）	60,000
同窓会費（4・5年度分@2,000×115名）	230,000
「第36回総会・懇親会」懇親会費（@6,000×25名）	150,000
寄附金（杉岡茂男様、松本章治様）	9,000

① 合 計 689,222

<支出の部>

※単位：円

「第36回総会・懇親会」案内経費（名簿整理・印刷・送料）	178,801
「第36回総会・懇親会」開催経費（@6,000×25名）	150,000
「第36号支部だより」発行経費（名簿整理・印刷・送料）	167,459
会議費（役員会4回会場使用料等）	43,000
口座徴収料金等（郵便局100件）	19,519
送金手数料（郵便局3件）	2,640
通信・運送費（役員等への資料送付3件）	4,980
消耗品費（コピー用紙500枚、プリンターインク代等3件）	3,255
雑費（栗高女子野球部激励寸志）	10,000

② 合 計 579,654

収入① 689,222 － 支出② 579,654 ＝ 次年度繰越金 109,568

令和6年11月16日

上記の通り報告いたします。

会 長 松 本 洋 幸

事務局長 久 世 郁 夫

監査の結果、適正に処理されていることを報告いたします。

会計監査 楠 文 利

会計監査 太 田 見知代

議題3 令和6年度～7年度「役員選出」

会則第8条～第10条に従い役員を選出。下記名簿のとおり前任者全員が留任し、役員任期は2年で令和8年度総会までになる。

《敬称略》

○会 長	松 本 洋 幸	昭和 40 年卒	○幹 事	谷 内 稔	昭和 48 年卒
○副会長	瀬 尾 明	昭和 43 年卒	○幹 事	安 島 陽 子	昭和 63 年卒
○副会長	辻 谷 博	昭和 44 年卒	○事務局長	久 世 郁 夫	昭和 46 年卒
○副会長	牛久保 真知子	昭和 46 年卒	○会計監査	楠 文 利	昭和 42 年卒
○幹 事	元 田 勝 蔵	昭和 45 年卒	○会計監査	太 田 見知代	昭和 43 年卒

【参考】 現在の顧問（会則第11条による）

○真 貝 晃 昭和 28 年卒 第4代会長
○横 岡 武 之 昭和 31 年卒 第5代会長
○桂 正 洋 昭和 37 年卒 第7代会長

特別賛助金の御礼（令和6年10月～7年1月）

第37回総会・懇親会ご案内の際、同窓会費収入の減少により財政がたいへん厳しいことをお伝えし、同窓会費とあわせて特別賛助金のお願いをいたしました。おかげさまで35名の方々から151,000円の特別賛助金のご協力をいただきました。

ここにご芳名を掲載し、御礼を申し上げます。

下 岡 房 子 様 S28	山 内 宣 彦 様 S30	橋 場 勝 男 様 S31
横 尾 武 之 様 S31	川 内 紀 彰 様 S33	藤 川 富 枝 様 S34
荒 澤 京 子 様 S36	桂 正 洋 様 S37	中 井 紀 明 様 S37
小 池 晶 子 様 S38	清 水 美知子 様 S38	山 内 三 経 様 S38
小 川 游 様 S39	高 宮 博 喜 様 S39	寺 澤 澄 雄 様 S39
宮 森 世津子 様 S39	池 上 富士雄 様 S40	松 本 洋 幸 様 S40
今 井 康 義 様 S41	梅 基 朋 子 様 S41	安 島 長 市 様 S42
小 原 正 義 様 S42	楠 文 利 様 S42	鈴 木 環 姫 様 S42
瀬 尾 明 様 S43	細 川 雅 司 様 S43	和 田 幸 廣 様 S43
辻 谷 博 様 S44	元 田 勝 蔵 様 S45	角 恭 輔 様 S46
久 世 郁 夫 様 S46	山 田 泰 士 様 S48	西 村 利枝子 様 S50
鹿 間 美津子 様 S54	安 島 陽 子 様 S63	

『栗高同窓会東京支部第 37 回総会に寄せて』

北海道栗山高等学校長 さかのうえ 坂 上 だいすけ 大 介

栗山高校同窓会東京支部第 37 回総会・懇親会が、盛大に開催されますことに心よりお祝い申し上げます。

栗山高校同窓会東京支部の皆様におかれましては、本校教育の振興にご理解と多大なるご支援を賜っていることに對し深く御礼申し上げます。

さて、本校は今年度、入学生が 49 名となり、これで令和 5 年度から 2 年連続で 2 クラスを維持し、3 年生 1 クラス、2 年生・1 年生が 2 クラスの全学年で 5 クラス、全校生徒 119 名となっております。

ご存じのとおり、全国でも北海道の少子化と人口減少の波は一層高いものとなる中、栗山町においても例外ではなく、歴史と伝統のある本校における定員割れ対策が喫緊の課題となっております。そのような中、栗山町の多大なるご支援のおかげもあって、令和 4 年度より本校女子硬式野球部を創設したことにより順調に部員の数を増やしており、現在女子野球部は 1・2 年生で 32 名の大所帯と、全校生徒の約 3 割近くと、定員割れ対策における大きな柱となっております。

また、昨年度より小規模校普通科における特色ある学びを推進するため、道外からも広く生徒を募集することが可能となっており、地域の方々と連携しながら栗山町の歴史と自然を学んだり町立介護福祉学校と連携した福祉を学ぶことができる、学校設定科目「栗山と福祉」を設定し、本校の探究的な学びの柱に据えるなど、魅力ある学校づくりに邁進しているところです。

更に今年度からは、(一般財団法人) 地域・教育魅力化プラットフォームが手がけている「地域みらい留学」に本校も参加することを決め、全国各地の中学生に、一人でも多くの生徒が栗山町と栗山高校の魅力を知ってもらう取り組みにも手がけ始めました。

また、本校では小規模校である強みを生かし、本校生徒がそれぞれの目標に向かって輝いていけるよう、学習面や部活動等で生徒一人ひとりに寄り添い、丁寧な指導を行うなどを行っております。その教育実践は、今春の卒業生の国立大学合格や、道内国立難関大学を志望する生徒の入学という学力面での活躍にみられたり、テニス部 6 名の生徒の全道大会出場や、2 年生の越前谷彩花さんが書道の作品において、2025 年第 49 回全国高等学校総合文化祭書道部門への出展を決めるなど、取り組みの成果として少しずつあらわれ始めているところです。

90 余年の伝統校が、新しく生まれ変わる魅力ある地域の学校として、今後も様々な取り組みを行ってまいりますので、引き続き皆様の厚いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

終わりになりますが、栗山高校同窓会東京支部のますますのご発展と皆様のご健勝を祈念しますとともに、様々な機会を通して、本校に對し忌憚のないご意見を賜りますことをお願い申し上げます。

『同窓会に一言・・・』

栗高同窓会会長 月 輪 淳 裕

栗高同窓会東京支部総会開催にあたり皆様にご挨拶を申し上げます。

東京は年々気温が高くなりご苦勞な事と存じますが、北海道もエアコンが必要な最近です。ですがさすがに10月に入りそれなりの気温変化に冬を迎える準備をしております。

ここ数年生徒数の激減で学校の存続が危ぶまれておりましたが、町の有志や栗山監督の勧めの女子硬式野球部創設で2クラス維持の生徒数を確保しております。

生徒は栗山町以外の子が多く寮の整備等、悩みも多くなりました。又、生徒が片寄り過ぎることやこのまま野球部に頼ってしまう不安を現校長とも危惧しております。高校とは単に人数を集め存続だけに力を入れる事は大人の一方的な考え方なのかもしれません。

わたしは47年卒業で多くの生徒がいました。今も2年毎にクラス会を続けておりますがもう70歳を越えました。

日本は、超長寿社会とも言える時代に突入しました。五苦すなわち「惚」が増え「生老病惚死」時代です。皆口々に「迷惑をかけるからボケたくない」と言いますが、実は、ボケているとは自分の事しか考えられない者のことではないでしょうか。

高校とは人生のこれからを左右する大切な時期です。同窓生は母校は残って欲しいですが、この少子化の時代を迎えた子達に何か出来ることがあるかを聞く耳を持つことも同窓生だと思います。

人生を楽しむ「かきくけこ」を紹介します。

「か」感動する「き」興味を持つ「く」工夫をする「け」健康であること「こ」恋をするつまり、うきうきすることです。

今回の同窓会総会がウキウキする楽しい会になりますようお願いしております。

皆さん「ごきげんよう」

北海道栗山高等学校校歌

- | | | |
|--------------|-------------|-----------|
| 1. 空知の原に咲き匂う | 小百合の薫り身にはしめ | 月影うつる夕張の |
| 流れに心清めつつ | 学びの庭にいそしまん | 我等は楽し幸多し |
| 2. 連なる峰の冬の空 | 吹雪はげしくすさぶとも | 緑変わらぬ松の色 |
| おのが操にたぐえつつ | 心の紐のゆるみなく | 教えの道を護らなん |

作詞者 福井久蔵(1867～1951年) 和歌の研究家で学習院大学教授、駒澤大学教授、東洋大学教授、昭和女子大学教授を歴任。「枕詞の研究と釈義」で注目され、「近代和歌史」が代表作。

作曲者 弘田龍太郎(1892～1952年) 東京音楽大学校卒。ドイツ留学後、母校の教授となる。その後、ゆかり幼稚園などを主宰。代表作は「鯉のぼり」「靴が鳴る」「浜千鳥」「春よ来い」「叱られて」「雀の学校」など。

＜会員だより＞

※総会・懇親会を案内した際に返信ハガキでいただいた近況などです。《敬称略、() 内は卒業年》

- 佐 藤 淑 子 (S30) 88歳になりました。どうにか元気で暮らしています。
- 山 内 宣 彦 (S30) 同窓会のご案内ありがとうございます。総会の開催およろこび申し上げます。自身は何回この会に出席したか、上京から69～70年になります。思い出も沢山懐かしく思っています。元気に毎日を送っています。ご盛会をお祈り致します。
- 橋 場 勝 男 (S31) 体力の限界に近づき今回で最後？ 久し振りに出席します。8月に継立、栗山、由仁、古山、三川の道路を走ってきました。昔の景色が変わっているのはびっくりでした。
- 藤 井 順 子 (S31) いつもありがとうございます。元気で過ごしておりますが、一人での遠出は無理になりましたので退会させていただきます。今まで大変ありがとうございました。
- 横 岡 武 之 (S31) 皆様の御活躍に感謝申し上げます。現在、特別の事はなくも体調調整わず、今度の会に出席できず残念です。小生の同期生からのさそいもありましたが、くやしい思いです。御盛会をお祈り申し上げます。
- 太 田 雍 徳 (S32) 高齢の為、サンデー毎日です。
- 川 内 紀 彰 (S33) おかげ様で元気に過ごしておりますが、高齢でもあり欠席させていただきます。栗山高校、往時を懐かしく思い出します。昨今、同窓会の運営は大変と思い、役員の方々のご労苦はいかばかりかとお察しします。総会のご盛会を祈念しております。
- 新 堂 良太郎 (S33) 「遠い空だよ故郷は」栗山の今昔、You Tubeで懐かしく見えています。ご盛会を祈念しております。
- 荘 田 八重子 (S34) もうすぐ84歳です。おかげさまで生きています。足腰も弱くなり飲食も制限ありまして遠出はできません。ボランティア活動は続けています。今迄ありがとうございました(退会)。
- 藤 川 富 枝 (S34) 猛暑の夏も終わりやっとな涼しい秋、暗くなるのも早いですネ。84歳になりました。大きな団地の4階で松林が沢山あり楽しみです。57年住んでいます。字も書けなくなり口だけが元気です。楽しい会にして下さいネ。
- 山 本 富士子 (S34) 私共高齢になりましたので退会させて頂きたく存じます。栗高同窓会の益々の発展をお祈り致します。
- 渡 辺 順 三 (S34) 今回退会致します。
- 井 上 民 雄 (S35) 初めて出席させて戴きます。楽しみにしています。
- 後 藤 隆 一 (S35) 皆様お元気ですか。小生、平均年齢を境目に急激に体力・気力が低下し、最近では散歩に出掛けるのも億劫な毎日です。総会には欠席ばかり

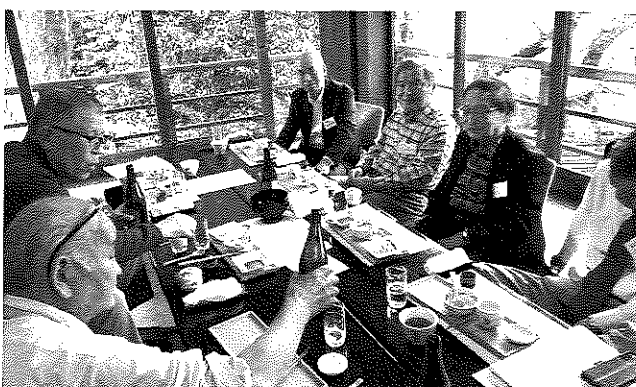
- で申し訳ありません。総会・懇親会のご盛会をご祈念申し上げます。
- 松本 淑子 (S35) 幹事の皆様、お世話になります。3年位前より体調をくずし、外出する事が難しくなり庭のお花を楽しんでいます。
- 村上 洋子 (S35) 元気でボランティアや地区老で活動しています。
- 荒澤 京子 (S36) 久しぶりの参加で大変楽しみにしております。お世話になります。
- 服部 元昭 (S36) いつも欠席で申し訳ありません。82歳でもう出かけることもかないませんので、今後は通知不要に願います。お世話になりました。盛会を祈っております。
- 桂 正 洋 (S37) 多くの方にお会いできるのを楽しみにまいります。
- 中井 紀明 (S37) 80歳を越えて体調がすぐれません。関西から出て東京まで行くのが自信ありません。栗山か家内がいる出雲市に帰るか迷っています。暑さにいつまでも慣れない私ですので暑い所ではなく、ふるさと栗山に帰りたいところですが、なかなか家内を残して単身栗山に帰るとはいきません。今年も暑い関西で過ごすと思うとやりきれない。栗山で「夏休み」をとりたいです。
- 山崎 満佳 (S37) ご盛会を祈念申し上げます。
- 小池 晶子 (S38) 御盛会を祈ります。
- 清水 美知子 (S38) コロナの時も今年の酷暑もヤットのこと乗り越えて歳なりの毎日を過ごしております。会長様、事務局長様お世話様です。盛会を祈念して失礼します。
- 田中 鈴子 (S38) いつもお世話して下さる方ご苦労様です。今回も用事があり出席できません。元気でつつがなく暮らしております。趣味の登山も80歳になりボチボチと楽しんでいます。
- 三好 康夫 (S38) 令和3年10月、突発性難聴になり神経がやられたのか、考えること出来なくなりました。今デイサービス（3日）通っています。会には参加できませんので退会させて下さい。長いことお仲間に入れていただきありがとうございます。
- 山内 三経 (S38) ご案内有難うございます。予定があり欠席します。幹事様ご労様です。皆様に宜しく！
- 小川 游 (S39) 幹事ご苦労様です。久しぶりに皆様とお逢いできるのを楽しみにしております。できるだけ沢山の人が参加することを願っております。
- 寺澤 澄雄 (S39) ご盛会をお祈りいたします。
- 宮森 世津子 (S39) 総会等の案内有難うございました。
- 青沼 俊雄 (S40) 年はとりたくないと思いつつ、これだけはどうもコントロールができず、まいったまいったの生活。
- 芋田 英一 (S40) 幹事ご苦労さまです。韻松亭も楽しみにしています。
- 小野 浜子 (S40) まだ保育園でがんばっています。小さい子どもの声や若い先生達との交

- わりが楽しく、ぼけ防止にもなっています。痛い所もでてきて歳を感じるこの頃です。
- 國岡悠子 (S40) 所用があり欠席させていただきます。会の盛況をお祈りしています。
- 小池アツ子 (S40) ご盛会祈ってます。体の調子が悪いので欠席、ごめんなさい！
- 千葉富夫 (S40) 盛会を願っております。
- 辻谷清博 (S40) 幹事さんご苦労様です。高齢により東京までは行けません楽しんでください。栗山も大分変わったと思います。
- 寺澤憲子 (S40) 役員の皆様、いつも有難うございます。ご盛会をお祈りしております。
- 中島豊勝 (S40) いつもありがとうございます。私も喜寿を迎えました。40年ぶりアマチュアビックバンドにパーカッションで加入して楽しんでます。平均年齢70歳です。年々メンバーが減っていくのがさみしい今日このごろです。皆様の健康を御祈りします。
- 堀峰雄 (S40) 参加出来ず申し訳ありません。
- 三上孝 (S40) 体調不良で欠席します。皆様によろしく。
- 山本力 (S40) 仕事を続けております。残念ですが家の事情で参加できません。申しわけありません。
- 梅基朋子 (S41) 幹事の皆様のご尽力に感謝申し上げます。長い闘病中にあります夫（梅基忠明・S47）のため欠席させていただきます。ご出席の皆様によろしくお伝え下さいませ。盛会をお祈りいたします。
- 伊藤勅昭 (S41) あいにく現在体調を崩し手術入院中で残念ながら参加できません。盛会をお祈り申し上げます。
- 今井康義 (S41) 下肢の具合が悪い為、出席できません。今後の継続お祈り致します。
- 金子英二 (S41) 脳梗塞のため欠席します。
- 下田眞由美 (S41) 昨年4月に脳梗塞になり、現在は杖でリハビリ中です。皆様の健康を祈ります。
- 杉岡茂男 (S41) 令和4年恩師・田中優先生他界。開催当日、恩師の死を偲びて合掌をお願い申し上げます。幹事の皆様ご苦労様です。
- 橋本英子 (S41) 英子の夫です。本人は認知症が進行しています。これまで同窓会のご連絡ありがとうございました。
- 渡会伸次郎、恵美子 (S41) いろいろお世話様です。なかなか栗山には行く事もなくなりました。皆々様御自愛下さい。
- 赤城秀明 (S42) こちらの会合と重なってしまい、残念ですが出席することができません。今年度こそは出席して高校時代に戻りたかった。80歳前には皆さんと顔を合わせたいと思っています。ご参会の皆様方のご健康とご多幸をお祈りいたします。次回もおさそいしていただければと思います。
- 楠文利 (S42) 今年の9月下旬、アメリカのグランドキャニオンに行きました。途方もない大渓谷で、はるか1600m下にコロラド川が見え、その荒々しい断崖

- 絶壁に驚くばかりでした。モニュメントバレーやアンテロープキャニオンも見て、アメリカの大自然のスケールの大きさに感動しました。
- 小 寺 節 (S42) ご出席の皆様のご健康をお祈りしています。
- 鈴 木 環 姫 (S42) 75才で近くの友人たちがボツボツと亡くなっていく中、何とか細々とですが仕事も続けています。同窓会は心の拠りどころです。
- 田 中 啓 子 (S42) 体調を崩しておりますので、欠席させていただきます。盛会をお祈り致します。
- 柳 澤 彰 (S42) 体調不良の為、欠席します。御会の御盛会と皆様の御健康を御祈念申し上げます。
- 安 島 長 市 (S43) 皆さん久しぶりに逢えるのを楽しみにしています。
- 太 田 見知代 (S43) 新しい会場、楽しみにしています。
- 瀬 尾 明 (S43) 6月25日に中学の同期の集いがあり、73名中19名が参加しました。その前に高校にも挨拶に立ち寄り、写真を撮って来ました。
- 高 橋 道 子 (S43) ご盛会をお祈りします。皆様の御健康と御活躍を心よりお祈りいたします。
- 細 川 雅 司 (S43) 毎日の散歩を目標にして平穏な暮らしができておりますが、さすがに年ごとの足腰の衰えは感じざるを得ません。今年の猛暑日には家族から散歩の一時中止を申し渡されました。
- 増 田 裕 子 (S43) 事務局の皆様、いつも大変お世話になっております。この度は都合が付き出席出来ませんが御盛会を心よりお祈り申し上げます。
- 吉 田 志津男 (S43) 盛会を祈念致します。
- 井 上 義 英 (S44) 役員・世話役の皆様、御苦勞様です。
- 関 洋 子 (S44) 楽しみにしています。
- 辻 谷 博 (S44) 週3日程度働いております。
- 倉 地 正 行 (S45) 総会・懇親会開催おめでとうございます。さて昨年、担任をしてくださいました田中優先生がご逝去されてさびしい思いがします。総会・懇親会ご盛況でありますようお願いしています。
- 矢 嶋 千賀江 (S45) 72歳になっても娘でいられる事に感謝し、孫達の成長を楽しみにしている毎日です。今年はとても暑い夏でした。皆様ご自愛下さいませ様お祈り申し上げます。
- 牛久保 真知子 (S46) 気持ちは変わらないつもりでいますが、通院の検査の度に「～が気になります」「～がありますから心して生活してください」等言われるようになり、気持ちがへこんでしまいます。友人達からは「治療しなさいと言われるまで大丈夫」と励まされはしますが……。体の声を聞きながら、求められるままにがんばっています。土いじりが好きだと最近気がつきました。
- 角 恭 輔 (S46) 古希を超えましたが元気にしてます。
- 久 世 郁 夫 (S46) 中学校女子ソフトボール部のボランティアコーチと畑作業は4年目にな

- り、おかげさまで身体を動かして楽しく元気にすごしています。
- 中 野 典 子 (S46) お世話になっております。痛いところなく食べて寝て、健康に過ごせる事に感謝しています。
- 坂 本 政 子 (S47) いつもご連絡いただきありがとうございます。北海道、栗山と聞くととてもなつかしく恋しくなります。
- 中 原 ヤス子 (S47) 毎日、自由気ままに過ごしています。
- 下 関 康 彦 (S48) 残念ながら出席出来ません。皆様のご健康を願っております。
- 田 中 ヤス子 (S48) 古希を迎え、体力の低下を感じつつ好きな登山を続けています。今回は残念ですが、皆様に会える日を楽しみにしています。
- 松 田 弘 恵 (S48) 連絡ありがとうございます。
- 山 田 泰 士 (S48) 11月11日に48年卒の古希記念第25期生同窓会が札幌で開催されます。なつかしい仲間と楽しいひとときを過ごします。コロナ禍が明け、日常生活を取り戻し、仕事での出張も戻り全国をかけめぐっています。訪れていない県が7県となりましたので全国制覇をめざします。
- 西 村 利枝子 (S50) 当日旅行に出ていていけません。申し訳ありません。今はパン教室などを行っています。
- 長 屋 鉄 治 (S51) 最近では生徒減少により定員割れとの事ですが、女子野球部が活躍しているのは明るい話題ですね。ところで、当方におきましては体調不良につき、今回も欠席させていただきます。ご出席される皆様には宜しくお伝え下さい。

第37回総会・懇親会の様子です



— 次回の総会・懇親会開催予定 —

開催日：令和8年11月21日（第3土曜日） 午後の開催
会 場：東京都内（未定）

◇ 同窓会費・特別賛助金のお願ひ ◇

支部活動は同窓会費によって支えられています。同窓会費（6～7年度）2,000円を未納の方は、ご送金お願いします。また、特別賛助金もご協力ください。下記の送金方法があります。

- ①昨年9月にお送りした「払込取扱票」をお使いの場合は（印刷ミスのため口座記号頭の空欄に「0」を記入の上）、郵便局のATMまたは窓口でご自身の通帳またはカードをご利用ください。現金での送金は払込人負担料110円がかかります。
- ②「払込取扱票」がない場合は、郵便局のATMでご自身の通帳またはカードを利用され「栗高同窓会東京支部、口座番号00100-5-147279」宛にご送金ください。ただし、払込人負担料100円がかかります。

編集後記

☆今回の総会・懇親会会場は、上野の杜の中にある創業が明治8年の老舗で初めての会場でした。出席者は東京、千葉、神奈川、埼玉のほか静岡からも1名あり、昭和31年～63年卒の方々でした。

☆総会の議事、懇親会の様子をこの「支部だより」で報告させていただきました。懇親会では、お互いに近況や高校時代の思い出などを話し、和やかに親交を深めました。

☆総会・懇親会開催に寄せて栗山高校の坂上大介学校長、同窓会本部の月輪淳裕会長からお祝いのメッセージをいただきました。

ここに改めて御礼を申し上げます。メッセージで母校や栗山町の近況などが紹介され、その内容も懇親会の話題になっていました。

☆昨年7月に30周年を迎えた栗高同窓会さっぽろ会が、会員の高齢化や新規加入者の確保が困難なことから、残念ながら昨年12月末をもって解散しました。

☆次回総会・懇親会には、同期の方々、先輩・後輩をお誘い合わせの上ぜひご出席ください。支部活動への会員皆様の引き続きのご支援ご協力をお願いします。

（事務局）

< 北海道栗山高校同窓会東京支部 連絡先 >

◇ 会 長

松 本 洋 幸 〒241-0801 神奈川県横浜市旭区若葉台2-20-1002 TEL/FAX. 045-922-3638

◇ 事務局長

久 世 郁 夫 〒343-0804 埼玉県越谷市南荻島4208-4 TEL/FAX. 048-974-3569

東京支部だより第37号

発 行 日 令和7年3月1日

編集・発行 北海道栗山高校同窓会東京支部事務局

責 任 者 東京支部会長 松本 洋幸

印刷・製本 白金プリンター株式会社